



～もしも 私が6歳の私に会えるなら～
「特別支援教育講演会」を開催しました

アスペルガー症候群の当事者として、うまく人づきあいができない、空気が読めないなど、生きづらさを感じながらも、自分らしく人生を歩んでこられたアスペルガーヒーラーのアズ直子さんを講師に迎え、6月21日（土）に、やまなみホールで、特別支援教育講演会が行われました。

「生きづらさの中にも小さな成功体験を重ねることで、今ではとても楽しい人生を送ることができています。同じ悩みを抱える子どもたちには、いろんな体験をさせてあげてください」と自らの経験をもとに、聴衆に語りかけたアズ直子さん。たくさんのチャレンジを通して、何ができて何ができないのかを知らながら自分に合った工夫を見つけること、また、周囲と適応できずにいる子どもたちの気持ちに寄り添うことの大切さを学ぶ機会となりました。



子どもの学習を地域で見守る
「平成たんば塾」が開講中です



夏休み中の小・中学生の自主学習を地域の大人たちが見守る「平成たんば塾」が市内全25校区で開催されています。

学習の見守り支援のほかにも、地域の特色を生かした課外活動を実施する塾もあり、子どもたちに多様な学びを提供しています。また、昨年からは、高校生がボランティアとして参加する姿も見られ、地域ぐるみで子どもたちの学習を見守る機運が高まっています。

夏休み中の子どもたちが、平成たんば塾でお互いに刺激し合うことで、学習習慣の定着につながることを期待されます。



ボランティアスタッフが見守るなか、夏休みの宿題に取り組む児童たち（春日地域進修校区）



「鉄道のお得で便利な乗り方」講座 Vol.1

【特急料金が半額！特急～新幹線の乗継割引】編

◆乗継割引とは

一定の条件で、JR線の特急列車などを乗り継ぐと、在来線（JR福知山線）の特急料金と指定席料金が半額になります。

出発前に、乗車券と乗り継ぐ列車両方の特急券などをお求めの場合に限り、割引が受けられます（一部対象外）。なお、乗車後に購入した場合やJR線とJR以外の路線を乗り継ぐ場合は、割引が適用されません。また、往復割

■ JR 柏原駅 ☎ 72 - 0543
都市住宅課（春日庁舎内） ☎ 74 - 2364

引もありますので、詳しくは、駅にお問い合わせください。

●乗継割引 適用例（通常時）

柏原駅から東京駅まで、新大阪駅でJR福知山線から新幹線に乗り継いで行く場合

柏原	JR 福知山線	新大阪	新幹線・のぞみ号	東京
◆普通車指定席 特急料金 1,490 円が 乗継割引で 740 円に！		◆普通車指定席 特急料金 5,700 円		

市長からのメッセージ 【こちら市長執務室】



左から、田村庄一副会長、中川幾郎会長、辻市長

8月6日（水）に、丹波市総合計画審議会（中川幾郎会長）から、「第2次丹波市総合計画」の答申を受けました。

「テーマ」 「第2次丹波市総合計画基本計画」の答申を受けて

た。まちづくりの根底には、丹波市自治基本条例で示された「地方分権や地域主権の理念が具体化された市民主体のまち」「市民一人ひとりの人権が尊重され多様性を認め助け合うまち」という理想の実現に向けた、市民のまちづくりに対する熱意やたゆまぬ努力の積み重ねがあります。

一方、本格的な人口減少社会の到来、経済成長の鈍化、市民参加型社会への移行など、本市を取り巻く社会経済情勢が大きく変化す

るなか、多様・複雑化する地域課題に適切に対応することが求められています。また、社会経済情勢の先行きに不透明感が増すなか、市では、行財政運営の基盤強化を図り、市民ニーズを捉えた戦略的なまちづくりを展開し、持続可能な行政運営を確立していくことが必要となっています。

今回答申を受けた、「第2次丹波市総合計画」では、市民一人ひとりの対話と共感を基調に、市がめざすべき将来像とその実現に資す

る方針をまとめ、市民参画と協働のまちづくりや行政運営の指針が定められています。答申にあたっては、審議会から、「市民等と共に、第2次丹波市総合計画の将来像である『人と人、人と自然の創造的交流都市・みんなであつなぐ丹（まごころ）の里』の実現に向けて着実に取り組まれるよう要望する」と記されました。具体的には、①市民との計画の共有（参画と協働により内容や趣旨をわかりやすく周知）②協働によるまちづくりの

推進（担い手の育成や活動支援など、より良いパートナーシップの構成に努める）③行政内部の推進体制の強化（行政内部の実行力のある横の連携を十分に図る）④行政評価による着実な計画の推進（計画・実施・評価・改善サイクルの確立）に十分配慮しながら計画を進めるよう提言を受けました。

後になりましたが、この計画の策定にあたっては、市民の方を中心に31名で構成された審議会委員のみなさんが、1年9カ月もの間に、30回を超える活発な議論を重ねていただきました。丹波市を愛する委員のみなさんの高い志が私たちになったこと、また、中川幾郎会長、田村庄一副会長が審議会を上手くまとめていただいたことに、深く敬意と感謝を申し上げます。

今後、市議会の議決を得て、今後10年間にわたる行政運営の最上位計画として位置づけ、まちづくりの基本方針として参ります。市民のみなさんも、審議会の委員のみなさんの英知とエネルギーの結晶である「第2次総合計画」についてご理解いただくとともに、この計画に基づき進めて参ります。これからの行政運営に、さらにご支援を賜りますようお願い申し上げます。